

ひかり 報

主
な
内
容

見つけてみませんか 自分に合ったボランティア
議会だより (11月臨時会)
中小企業を応援します!
あいさつ運動 シンボルマーク、キャッチフレーズ大募集!
光市の財政状況
水道・病院事業の業務内容をお知らせします

平成13年
11/25

vol.1212
毎月10日・25日発行

図書館から世界が広がる
～光図書館まつり開催～

※詳細は2・3ページ

図書館からいろいろ始まる

光図書館まつり ウォッチング



オープニング



光図書館まつり
実行委員長
守田信枝さん
(賀茂文庫)

たまたま、図書館に本を借りに行ったとき図書館長から声をかけられ、軽い気持ちで実行委員長になってしまいました。準備を進めていくうちに皆の情熱に引きずられて自分も楽しい気持ちで参加していました。ブックリサイクルやインターネットなど苦労もありましたが、なるべくお金をかけず、自然体の祭りになったと思います。これからも、ますます市民に親しまれる図書館になるよう、1回だけでなくこの祭りを継続していければと思います。



パソコン
コーナーを担当
福森宏昌さん
(これからネット光)

シニアが中心となり、市のIT講習会のお手伝いを始め対外的な活動も多く行っています。図書館まつりでは光町とのパソコン交流、ネットミーティング、インターネット体験コーナー等を担当しました。パソコン交流がスムーズにいくよう準備するのに苦労しましたが、中学生同士の生き生きとしたやりとりに感激しました。カレンダー作成体験コーナーでは来られた方をデジカメに撮ってそれを貼りつけた独自のカレンダーを作ってもらい好評でした。

皆さんは、図書館をどのように利用されていますか。本を読んだり借りたりするだけと思われていませんか。光市立図書館は昭和51年の開館以来、市民のだれもが気軽に教養や知識を得る施設として本の貸し出し等を行うほか、お話を開催して本に親しむ環境づくりをしたり、情報収集等に活用していただくためインターネットに接続できるパソコンを設置したりと、市民の幅広いニーズに対応し、さまざまなサービスを提供してきました。そして25周年にあたる今年、より親しまれる図書館をめざし、11月9日から11日まで、「光図書館まつり」を開催しました。

運営には、多くのボランティアの方が協力されており、お話会や講演会、本のリサイクル、小中学校美術展、読書感想画展など、多彩な催しを用意することができました。祭り開催中は多くの皆さんが図書館を訪れ、大盛況。市民と行政が一体となった催しになりました。

【実行委員会メンバー】 敬称略
市橋勝広(ユネスコ)、古川雅之(青年会議所)、植田孝子(やまびこ文庫)、福森宏昌(これからネット光)、守田信枝(賀茂文庫)、山下千佳子(語りの会)、三浦恵子(ジョイントネット21・山口)、藤井真(ロータリークラブ)、佐藤純一(附属光小)、中村真理子(光井小)、国広哲也(光地方史研究会)



やまびこ文庫コーナーでは、たくさんの子どもたちがクリスマスの飾りづくりに挑戦。



千葉県光町の図書館



光市立図書館

最終日の11日には、市内の5つの中学校の生徒と、友好交流を進めている千葉県光町の光中学校の生徒がパソコンを利用して、対話しました。生徒たちはスクリーンに映し出された映像を見ながら、お互いのまちの事や学校での生活について紹介し、感じたことを質問するなど、交流を深めました。



年賀状・カレンダー作成コーナーは大盛況。これからネット光の皆さんの手ほどきを受けながら、光の風景の入ったすてきなカレンダーなどを作っていました。

ブックリサイクルコーナーは終日にぎわい、用意した約8000冊の内、半分が持ち帰られました。



山口弁講座(左)や「語りの会」会員による語り(右)、大人のためのお話会など、催しが目白押し。大人から子どもまで楽しんでいました。



ブックリサイクル
を担当
市橋勝広さん
(ユネスコ青年部)



事前に3日間に渡って市民の皆さんから不要になった本をご提供いただきましたが、思った以上にたくさん本が集まりました。特に絵本が多かったのはうれしかったですね。わざわざお持ちいただいた方々に心から感謝申し上げたいと思います。仕分けや本の出し入れなどは、意外と大変な作業でしたが、子どもたちが喜んでくれている様子を見たり、またやってほしいというような声をかけられたり、当日来られた方がそのままお手伝いをして下さったりと、うれしいことがたくさんあって、感動しました。



やまびこ文庫
植田孝子さん

「子どもたちに読書の喜びを」と母親たちが毎週水曜日に室積公民館で活動を始めて30年になります。図書館まつりは今年度のやまびこ文庫母の会の会長末岡孝子さん他役員5名、および会員の有志で8月末から準備しました。簡単工作コーナーではまつりぼっくりのツリーやパタリンチョウを作るのに材料の提供等多くの人に協力していただきました。また、当日は昔の会員が自分の子どもの家族を連れてこられ、親子孫三代繋がる文庫の歴史に感慨無量でした。